

40

公共図書館のこれからを考えるワークショップ

知の交流・創造・発信を楽しみ、 元気なコミュニティを育む知的広場

2013年2月22日(金)13:00~17:30

主催:筑波大学知的コミュニティ基盤研究センター

筑波大学図書館情報メディア系

後援:茨城県図書館協会

KEWANGE Place Workshop

40

■趣旨説明

筑波大学図書館情報メディア系 市川恵理

2

KPW

40

☆21世紀は知識基盤社会の時代

「知識基盤社会」

新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会の あらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す 社会

中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」(2005)

3

Kerwinder Place Workshop

40

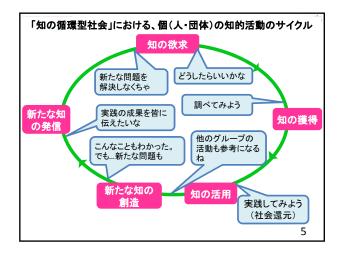
知識基盤社会では・・・

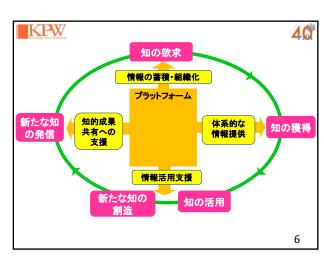
☆人々の経験や知識等の「知」が社会の中の様々な 主体間や世代間で共有・継承され、それら(を)学習 した成果が活用され、社会に還元される仕組みを形成していくことが重要

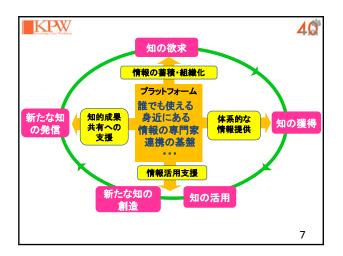
中央教育審議会答申

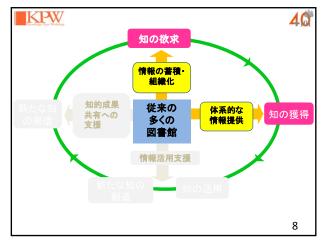
「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について〜知の循環型社会の構築を目指して〜」(2008)

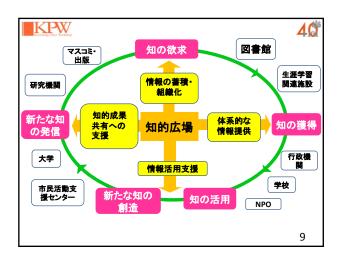
4

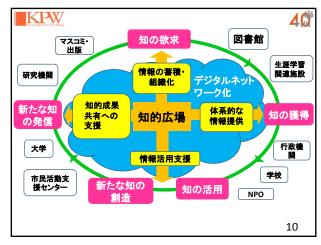


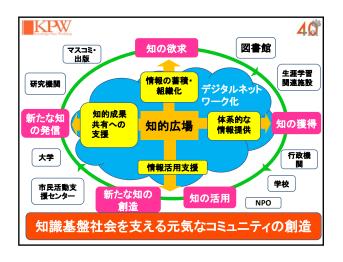


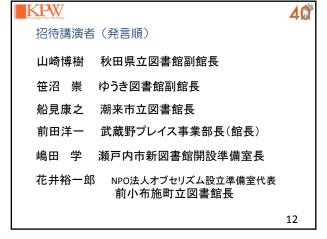












KPW

40

筑波大学

杉本重雄 知的コミュニティ基盤研究センター長、

図書館情報メディア系教授

吉田右子 図書館情報メディア系教授

市川恵理 図書館情報メディア系准教授

ほか、多数の教員・学生が参加(予定)

13

KPW

40

プログラム

13:00 開会 主催者挨拶

13:05 趣旨説明

13:10 報告

15:15 休憩:交流の時間

15:45 意見交換(質疑応答含む)

17:30 閉会

14